防災連載

# 災害を知り備える

危機対策課危機対策係 ☎23-3801

## 大雪と暴風雪に備えましょう

大雪や暴風雪に見舞われた場合、町内外で交通障害など、暮らしや経済活動に大きな影響が生じます。本格的に雪が降る前に、各家庭での備えや対策を確認しましょう。

### 家の中で安全に過ごすために

- 気象情報に注意し、暴風雪が予想されているときは外出を避ける。
- 停電に備えて、非常食、飲料水、携帯ラジオ、防寒具、ポータブルストーブ、灯油、懐中電灯などを準備する。
- FF 式暖房器具等を使用している場合、給排気口付近が雪でふさがれないよう注意する。

### やむを得ず車で外出するときは

- 天気の急変などにより、車が立ち往生することを想定して、防寒着、長靴、手袋、毛布、スコップ、けん引ロープなどを車に用意し、燃料が十分にあることを確認する。
- 地吹雪などにより危険を感じたら、無理をせずに道の駅やコンビニエンスストア、ガソリンスタンドなどで天気の回復を待つ。
- 車が雪に埋まったときは、エンジンを切る。

### 暴風雪で立往生した町民の体験談

当別町に暴風雪警報が発令中の午後９時頃、町外から帰宅しようと町道を走行していたところ、ホワイトアウトにより前方が何も見えず、徐行していると吹き溜まりに突っ込んでスタックしました。外に出て状況を確認しましたが、周りに建物もなく、至る所に吹き溜まりがあり、助けを呼ぶにも厳しい状況。車内に毛布や防寒着などの備えはなく、ガソリンや携帯の充電も残りわずかでした。

JAF や警察、役場へ連絡したものの、二次災害も懸念されるほどの悪天候のため、現場に辿り着けるような状況ではなく、当然ながら対応不能。その後、朝６時に運良く除雪車に救出してもらうことができましたが、朝までの間にみるみるうちに雪で車が埋まっていき、非常に怖い思いをしました。

それ以降、まずは「悪天候時は無理をしないこと」やむを得ず外出するときには必ず「立往生しても長時間車内で過ごせる備え」をするようになりました。

**冬は無理をしないことが鉄則！**
**外出する場合は必ず備えを！**

広　告

広　告